



第 6 回 旭川市民文化会館整備基本計画検討会

令和 7 年 6 月 4 日（水） 午後 1 時 3 0 分～

旭川市教育委員会
社会教育部 文化ホール整備担当

ASAHIKAWA CITY



【次第】

- 1 これまでの経過とイメージ模型
- 2 市民説明・意見交換会の結果
- 3 今後の進め方



1 これまでの経過とイメージ模型

～ 1 階 エントランスへ御移動をお願いします ～

2 市民説明・意見交換会の結果

3 今後の進め方



- 1 これまでの経過とイメージ模型
- 2 市民説明・意見交換会の結果**
- 3 今後の進め方

(1) 開催概要



基本計画策定に向けた検討状況について、これまでの経過を説明するパネルや、検討会の意見を踏まえ作成したイメージ模型を用いて説明、意見交換を行った。

市民説明 ・意見交換会

開催場所				旭川市民文化会館 2 階 第 2 会議室 及び 1 階 エントランスホール			
回		開催日時				参加人数	
第 1 回		令和 7 年 4 月 2 4 日（木）		午後 6 時～午後 7 時		3 1 名	
第 2 回		令和 7 年 4 月 2 9 日（火・祝）		午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 3 0 分		2 0 名	
第 3 回		令和 7 年 5 月 8 日（木）		午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 3 0 分		4 4 名	

関係資料 展示

開催場所	旭川市民文化会館 1 階 エントランスホール
開催期間	令和 7 年 4 月 1 7 日 (木) ～ 5 月 8 日 (木)

(2) 市民説明・意見交換会の参加者



- ・全体で95名が参加

➡ 印象として...

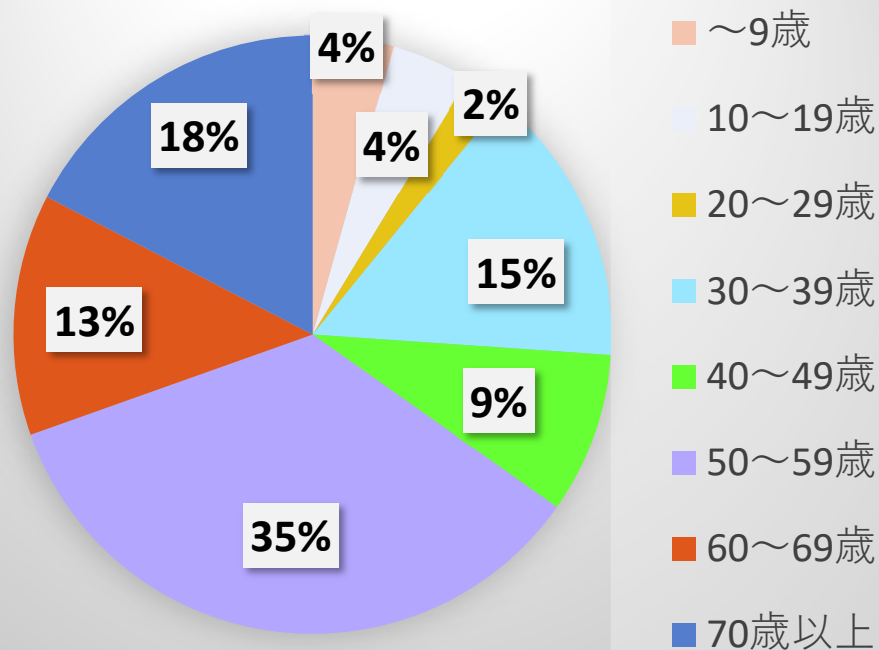
関係者（意見・質問時の発言内容等から、現施設の利用者のほか、建設関係事業者やプロモーター、管理運営事業関係者などが参加していた）の関心の高さが伺えた一方、

関係者以外の市民の参加・発言は少なかった

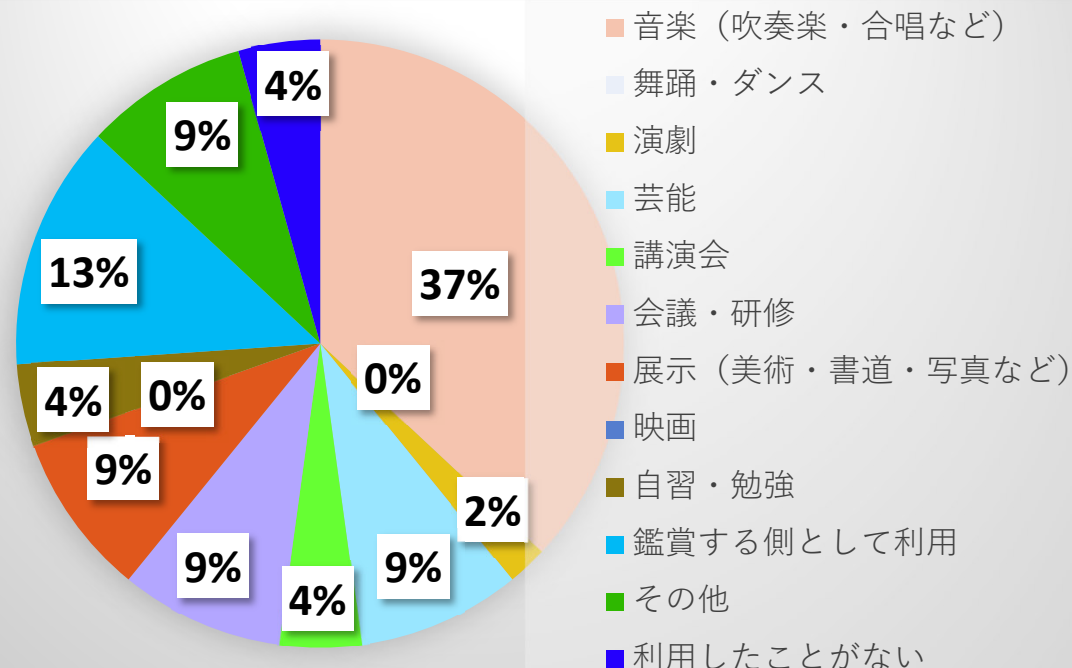
(3) アンケート回答者の属性



年齢割合



利用区分



現施設利用者からは回答があり、一定の関心の高まりが見えるが、
若年層や未利用者からの意見が少ない

(4) 今回の取組から見た新たなニーズ・意向



分類	意見
① 新たな催事	・ 過去なかったオーケストラやバレエ、オペラなど ・ 吹奏楽コンクールの全国大会など ・ これまでよりも様々なアーティストのライブ ・ 映画、自主映画、まちなか学生映画祭 等
② 新たな日常利用	・ コンサートホール機能のみがあればよい ・ 定期的に集まる発表の場 ・ 公民館のように、定期的に利用したい (中央公民館の環境が良くない) 等
③ 管理運営（予約方法） についての考え方	・ 予約受付での優先順位の再考を願う ・ 大ホールは全日のみ使用できるというルールにできないか 等
④ 管理運営（事業運営・料金） についての考え方	・ アーティスト公演に対する会場費等を軽減 ・ 市民活動への減免 等
⑤ 管理運営（販売を伴う催事） についての考え方	・ イラストやハンドメイド作品等の小規模な即売会 ・ 食べマルシェなどの際に、エントランス等でも物販 等
⑥ 新たな施設機能・仕様	・ 小ホールを平土間にした場合、客席が階段状になる仕組みが必要 ・ 文化ホールを使った事業等に関する専門書等が読めるスペース 等

(5) 市役所内の関係部局と連携した検討が必要なもの

大分類	中分類	意見
①まちづくり	まちづくりの視点	- 市全体のまちづくりに対する考え方の元で検討すべき - まちづくり担当課が関わるべき 等
	バス乗降場の設置	- 貸切バスでの乗降スペースを敷地内に設けたらよい - バスレーンやバスも入れる車寄せを整備すべき 等
②教育	部活動の地域移行の受け皿としての機能	- 全国的に部活動などの「地域移行」が進む中で、発表の場を共有することが大きな成長につながる - 若い世代は「もっと地域とつながりたい」と思っている 等
③子育て	子どもを預けられる場所	- 催し物がある時に、子どもを遊ばせてあげられる場所 - 子どもの遊ぶところを作してほしい 等
④若者	若者・子どもの居場所	ユースセンター等の若者の居場所
⑤市庁舎	市庁舎等との連携	- 市庁舎と行き来しやすい構造 - 総合庁舎前の空間など、敷地全体の活用 - 地下駐車場の在り方 等

(6) 寄せられた意見の分類



分類	意見
① さらなる意見聴取についての要望	・ 計画策定のPRの場を増やし、さらに市民の参加を ・ 今まで施設を利用していない人に利用してもらう、これまで旭川で育っていない文化を育てる等の視点での意見聴取 等
② 施設性能に関する要望や懸念	・ 「気軽に鑑賞できる仕組み」という考え方に賛同する ・ 多目的に使用できるようにすると、それぞれの利用目的で求められる性能を実現できるか疑問 ・ 開放的で活動の様子が見えるのは良いが、騒音等が気になる 等
③ 適正な施設の機能・規模の在り方	・ 無駄な場所が多い。現在の機能で十分 ・ 機能を多数盛り込むと、大ホールの充実を阻害する ・ 公会堂の耐用年数を踏まえた、中ホール機能の在り方 ・ 大ホールを1,500席まで使用せず、700席程度でも利用できるなど 等
④ 管理運営についての考え方	・ 管理運営に関する意見・意向を踏まえた議論 等



- 1 これまでの経過とイメージ模型
- 2 市民説明・意見交換会の結果
- 3 今後の進め方

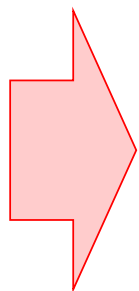
3 次回までに行うこと



課題

① 積極的な 聞取り調査や PRの実施が必要

- 未利用者へのPRや若年層への意見聴取の不足
- 継続的に意見聴取を求める要望



実施内容

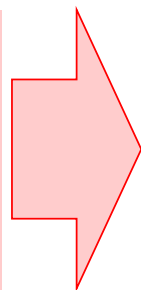
① イメージ模型を活用したPR活動と聞取り調査

- 現施設を利用したことのない市民へ
→ 駅や商業施設など、不特定多数の人の目に触れる場所でのPR活動
- 若年層（学生など）へ
→ 学生向け事業の場を借りるなど
現在の検討状況について説明し意見聴取
- イメージ模型の展示を延長するなど意見聴取を継続

3 次回までに行うこと



課題	実施内容
② 活動実態の把握が必要 - 新たな催事のニーズ - 必要性の精査を求める意見 - 公会堂機能の在り方	② <u>現施設の利用実態に関するデータの整理・分析</u> 【資料③】 - 利用率などの推移 - 直近5年間分（令和元年～5年度） ↓ 【今後の取組】 - 令和6年度データの整理や過去のデータ整理 - 分析を進めるため必要なデータを整理



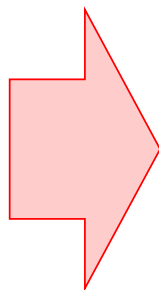
3 次回までに行うこと



課題

③ 管理運営面や 新たな催事に 関する意見

市民説明・意見交換
会やアンケートから
得られたニーズ



実施内容

③ 現状の整理と他都市事例等の調査

- ・ 管理運営面などについて

3 次回までに行うこと



課題

④ 共用部の活用

(エントランス等)

→ イメージ模型のポイント

【関連する意見】

- 交流できる施設
- マルシェ、ミニコンサート、キッチンカー
- 気軽に立ち寄れる施設
- まちの中心部に人が集まるような施設 等

現施設

開放時間

9時～21時
(夜間に催事がない日
: 17時半に閉館)

使用根拠

貸出に関する規定
(条例等)がなく、
占有的な使用が
できない

実施内容

占有的に使用できた場合、
どのような可能性があるか？

④ 現市民文化会館の エントランスホール を活用した 事業アイデアを募集

- 現施設での需要を調査し、新文化ホールのポテンシャルを検討する際の参考とする